

長年に渡りファイアウォール製品の取扱経験を持つ日立ソリューションズ

日立ソリューションズでは、20年以上に渡りファイアウォール・UTM製品を取り扱っており、Fortinet製品に加え、Palo Alto Networks製品、Juniper Networks製品とあわせたファイアウォール・UTMの納入実績は約17万台*4に上ります。

Fortinet社とのつながりも深く、定期的な技術会議・営業会議を行うなど、緊密な関係にあります。

また、リリース前検証や高負荷シミュレーション、他社製ファイアウォールとの相互接続検証など、日立ソリューションズ独自の品質検査を行い、不具合を検出した場合には直接Fortinet社への報告やサポートサイトでの情報提供など、品質向上の取り組みも行っていきます。

さらに、貸出可能な評価機を300台保有しているため、事前にお客様における検証作業も可能です。

クラウド時代にはクラウドサービスの利用に適したネットワークインフラの構築が重要です。クラウドサービスのメリットを最大限に生かすために、クラウドサービスの導入を検討されている企業やすでに導入し始めている企業のシステム部門の方は、日立ソリューションズに相談してみたいかがでしょうか。

*4 2019年9月時点

クラウドサービス利用時のネットワーク負荷でお困りの際は、お気軽にご相談ください。

ネットワークセキュリティ対策に求められる、さまざまな機能を1つに・・・
セキュアで快適なネットワーク環境を1台で実現



UTMアプライアンス Fortinet
FortiGateシリーズ

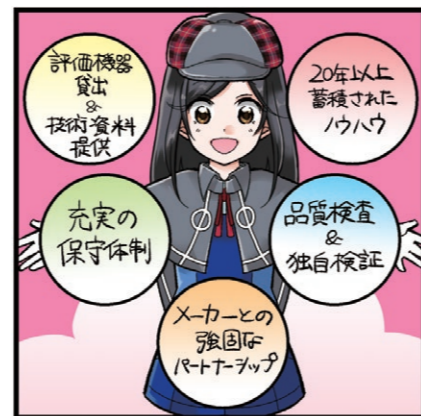
www.hitachi-solutions.co.jp/fortinet/sp/ 日立 FortiGateシリーズ 検索

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取ください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/column/shion/vol10/

C19S-01-01 2020.01

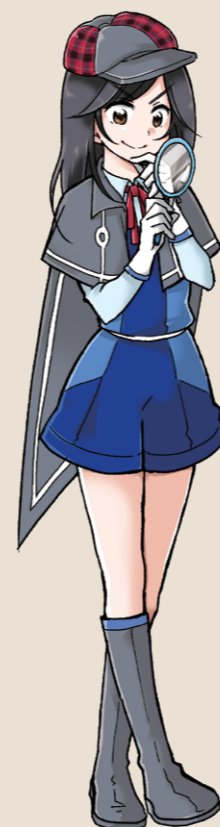


プロローグ

都内某所に、ITを駆使して企業の悩みを解決するという、特別な探偵事務所がある。そこで働くエリートIT探偵の「伊野部しおん」は、企業が悩むセキュリティや業務効率化の課題を次々と調査・解決していく。

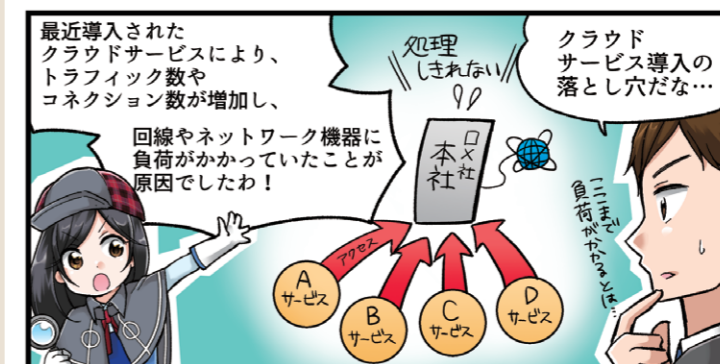
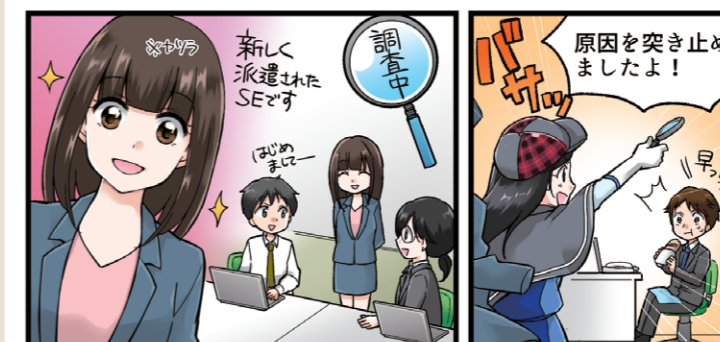
伊野部 しおん

IT探偵事務所に勤めるエリート探偵。3年前までは某企業のスーパーエンジニアだったらしい。依頼先の関係者に変装をしてITの課題を探し出して解決していく変装調査型の仕事を得意とする。



IT探偵 しおんが解決!
企業潜入調査物語

ネットワークインフラの負担をFortinetセキュアSD-WANで軽減!



登場人物

なんかん つなぐ 南関 津奈具

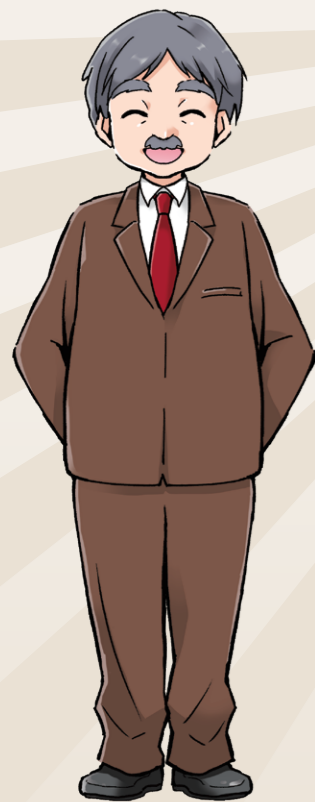
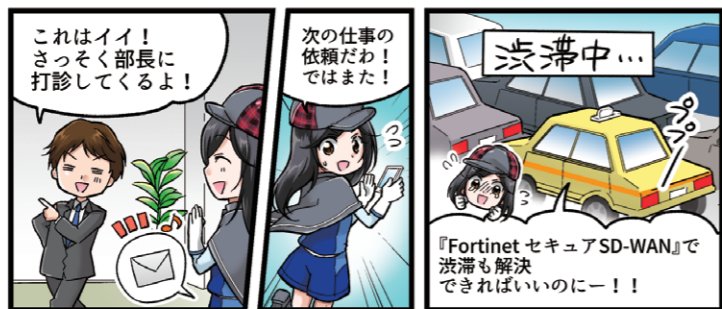
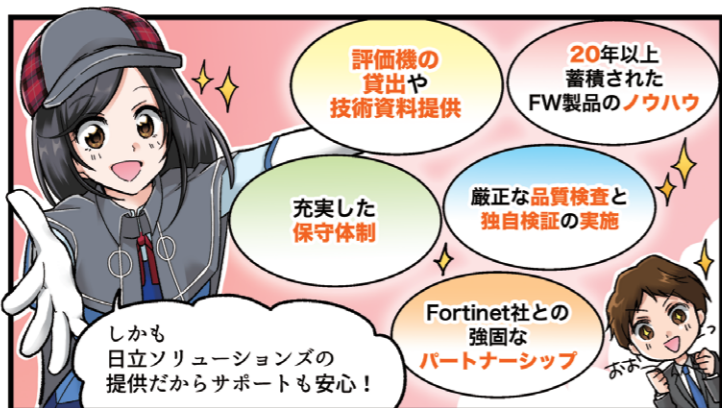
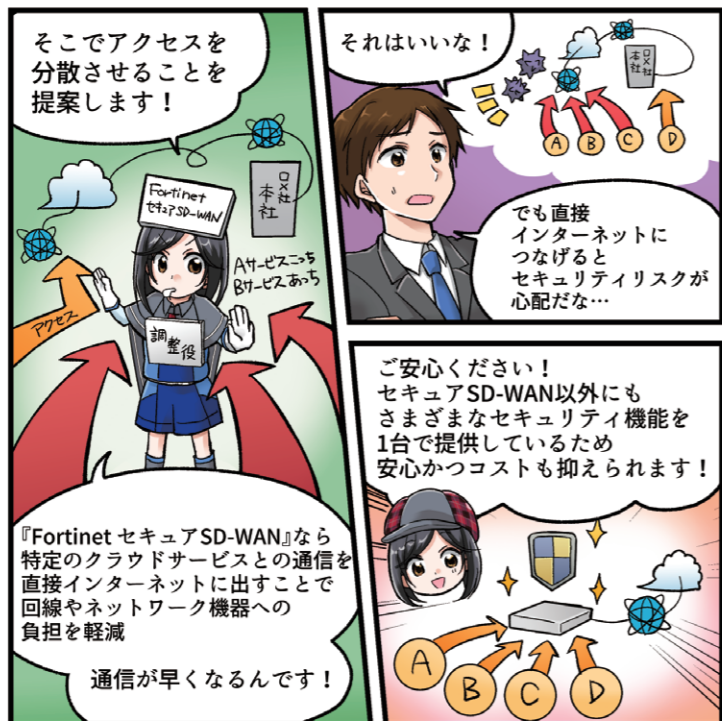
□×社情報システム部に所属しているシステムエンジニア。真面目な性格で社員がスムーズに仕事をできるように日々工夫をしている。好物はパン。



そりゅう よしお 曾柳 好男

IT探偵事務所所長兼取締役を務める社長。さまざまな企業に監査などの内部調査を依頼され、しおんを送り込んで企業課題を解決させている。





IT探偵しおんが解決!

利用拡大が進むクラウドサービス。国内では約6割の企業が利用していると言われています。メリットの多いクラウドサービスですが、その普及によって、既存のネットワークインフラでは利用に支障をきたすということも起きています。その原因は、クラウドサービス利用時に発生するトラフィックの急激な増加に伴う、閉域網やインターネットVPNの帯域不足によるものです。日立ソリューションズでは、このような課題を解決するため、UTM*1とSD-WAN*2を活用したネットワークソリューションを提案しています。クラウドサービス利用時に適したセキュリティ、パフォーマンス、そしてコストのバランスが取れたネットワークインフラを提供します。

*1 UTM(Unified Threat Management) : 複数の異なるセキュリティ機能を一つのハードウェアに統合し、脅威管理を統合的に行うこと
*2 SD-WAN(Software Defined WAN) : ソフトウェアによって仮想的に定義されたネットワーク、またそれを実現する技術全般の総称

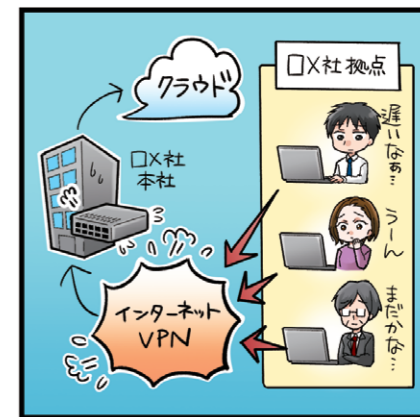
クラウドサービスがネットワーク速度を低下させる!?



クラウドサービスはテレワークへの対応や、管理工数・コストの削減など、働き方改革や生産性の向上との親和性が高いため、企業での導入は増加の一途をたどっています。平成30年通信利用動向調査(総務省調査:2019年5月)によれば、約6割の企業が何らかのクラウドサービスを利用しているという回答をしています。

メリットの多いクラウドサービスですが、その普及によって既存のネットワークインフラ、特に複数拠点を閉域網やインターネットVPNで結んでいる企業では、ネットワークの速度低下が起こり始めています。その原因は、クラウドサービス利用時に発生するインターネットアクセスのトラフィック増によるものです。

従来、LANや閉域網の中で完結していたトラフィックが、クラウドサービスの利用によりインターネットへ出ていくようになりました。そのため、ゲートウェイやプロキシを通過するトラフィックが増え、これら機器の負荷が大きくなっています。さらに Microsoft Office 365 や G Suite などのオフィスでよく使われるクラウドサービスでは、常にクラウド上のサーバと通信を行うので、従来のアプリケーションと比較してデータ量やコネクション数が増加し、閉域網やインターネットVPNの帯域不足が起こる可能性があります。



各拠点からインターネットに接続するという考え方



では、このような課題にどのように対処していけばよいのでしょうか。真っ先に考えられるのは、回線やネットワーク機器といったネットワークインフラの増強です。しかし、これには大きなコストがかかります。

そこで提案したいのが、各拠点から直接インターネットに接続し、特定のアプリケーションのトラフィックを逃してしまうという考え方「インターネットブレイクアウト」です。

つまり、トラフィック量が多いクラウドサービスの通信を各拠点から直接インターネットへ出してしまうことで、トラフィックの集中を避け、拠点間の通信負荷を軽減することが狙いです。

ただし、これには課題があります。一つは、トラフィック量が多いクラウドサービスをきちんと選択して経路を制御することです。もう一つは、ネットワークの出入口が増えることによるセキュリティリスクの増加です。これらの対策のためにそれぞれ機器を導入するのであれば、やはりコスト面でも管理面でも負担が大きくなるを得ません。



SD-WAN機能を持つUTMですべてを解決

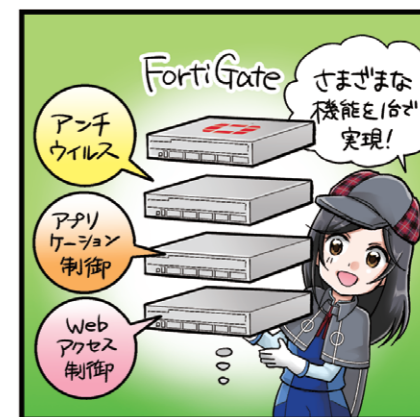


このような課題を解決するのが、Fortinet社の提供するセキュアSD-WANです。

このセキュアSD-WANはISDB (Internet Service Data Base) によって、クラウドサービスごとに通信経路を指定できるため、例えば Microsoft Office 365 は直接インターネットへ接続し、Amazon Web Servicesで運用されている業務アプリケーションは閉域網をとり、本社のゲートウェイをとおしてインターネットへ接続する、ということも可能です。ISDBは数多くのクラウドサービスに対応しており、通信の開始時からブレイクアウトが可能なので、ネットワークの負荷軽減にも大きく寄与します。

セキュアSD-WANは国内UTM市場でトップレベルのシェア*3を誇るFortinet社のUTMであるFortiGateの1機能として提供されています。FortiGateはセキュアSD-WANの機能以外にも1台でアンチウイルス、アプリケーション制御、Webアクセス制御などの機能を持つため、セキュリティを確保しつつ各拠点からの快適なインターネット接続を可能にします。

またFortiGateは、トラフィックのロードバランシング機能も有しています。条件に応じて閉域網やインターネットVPNを使い分けることで、回線コストを最適化したり、ネットワークの冗長性をもたせることも可能です。



*3 出典: IDC's Worldwide Quarterly Security Appliance Tracker - 2018Q3